

「現場で出会った多くの技術者に学びながら成長を続けたい」



■由良宿団地建替工事（第2期）現場前の杉内さん、猛暑の中1時間おきに休憩を入れながらの作業が続く

(株)共栄組（東伯郡北栄町）

すぎうち しんじ

杉内 慎治さん（41才）

<2級建築士、1級建築施工管理技士、2級土木施工管理技士>

島根県益田市出身。

妻の郷里である北栄町の(株)共栄組に就職し12年目になります。

入社当初は、5才上の先輩に付いて現場で土木と建築を学びました。

JVの建築現場が多いので、他社の技術者から多くの刺激をもらっています。

建築は工種が多いこと、また、設計事務所のやり方や進め方が現場毎で違うので、難しいことに直面することもあります。その度に学ぶことが多いので、色々な現場で働けることはチャンスだと思っています。

共栄組は担当者が営業からアフターケアまで一貫してお客様と関わります。お客様の声が直接聞けることで対応がスムーズに出来るのが当社の強みだと思います。

最後に

あと5年位で熟練技術者が退職の時期を迎えるので、それまでに若手技術者が多く入職して欲しい。そして仕事を続けて欲しい。分からないことは「分からない。」と先輩に言う勇気を持って欲しい。

現場では辛いこともありますが、出来たら楽しい、面白いに繋がります。その繰り返しのプロセスが仕事のやりがいになっていくので、前向きに頑張りたいと思います。

次の（第3回）リレーインタビュー(株)井木組 石脇正浩さん